



適用事例21

土地家屋調査士業務に活用

オフィス岸本

私どもの管轄は、阪神淡路大震災の震源地である淡路島です。登記業務を始めて23年になりますが、不動産登記規則が改正されるまで、土地家屋調査士に基準点測量が不可欠になるとは夢にも思いませんでした。2006年、瞬時に世界測地系を取得できるGPS受信機を購入することになり、今では1基準点あたり5分程度(VRS方式のネットワーク型RTK-GPS10秒エポック2回)で世界測地系座標を求める事ができるようになりました。

淡路島は、電子基準点が5点あり、事務所から近くの電子基準点まで1キロ圏内にあります。当初は測量精度に不安がありましたが、電子基準点スタティック測量及び街区基準点の成果値データにより確認しましたが、いずれも満足のいく精度でした。今後は日本土地家屋調査士連合会が民事局と協議し、測量作業マニュアルが作成され、ネットワーク型RTK-GPS測量が登記測量により一層活用されるよう心から期待しています。



日本GPSデータサービス株式会社